

指標の分析

令和元年度の通信指令機器は、通信指令機器整備計画どおり更新されている。

4. 施策の評価

これまでの主な取組と成果

- ①消防救急無線維持管理事業では、消防救急無線設備を保守業務委託することにより、障害などのトラブルもなく円滑な運用ができた。また、デジタル無線基地局などの法定登録点検や無線機器を計画更新した。
- ②通信指令システム維持管理事業では、消防通信機器整備計画に基づき、高機能消防指令システムの一部を更新するとともに、保守業務委託により適切な維持管理ができた。
- ③内部情報システム維持管理事業では、パソコンなどの機器類及び、各種ネットワークシステムを保守業務委託することにより、適切な維持管理ができた。また、職員を対象とした情報セキュリティ研修を行い情報セキュリティの無事故達成に貢献した。

今後の課題

- ①消防救急無線維持管理事業では、消防救急デジタル無線の耐用年数を見極める必要がある。
- ②通信指令システム維持管理事業では、令和6年度に高機能消防指令システムの全部更新が控えていることから、高機能消防指令システムの安定かつ円滑な稼働の実現に向けて、調査研究が必要である。
- ③内部情報システム維持管理事業では、情報資産などの管理や運用方法について、情報セキュリティポリシーが遵守されているかを検証するための監査が必要である。

今後の展開

- ①消防救急無線維持管理事業は、消防救急デジタル無線の耐用年数を他機関を通じて研究していく。
- ②通信指令システム維持管理事業では、高機能消防指令システムの全部更新に向けて、各種課題などを抽出し、高機能消防指令システムの安定かつ円滑に稼働するよう取り組む。
- ③内部情報システム維持管理事業では、職員を対象とした情報セキュリティ研修における意識の啓発を図るとともに、情報セキュリティポリシーの遵守を検証するための監査を行う。

5. 構成事務事業の評価

事務事業名	主要施策名	事業種別	令和元年度	事務事業 評価/ 総合評価	有効 度	優 先 度
			決算額(千円)			
1 消防救急無線維持管理事業(消防局)	221 消防救急無線の整備	行政管理(財産等管理/法律等)	25,156	B 4	B	B
2 通信指令システム維持管理事業(消防局)	222 消防通信機器の整備	行政管理(財産等管理/任意)	437,575	B 3	A	A
3 内部情報システム維持管理事業(消防局)	222 消防通信機器の整備	施設管理(施設の維持管理/要綱等)	40,203	B 3	A	A
4			0			
5			0			
6			0			
7			0			
8			0			
9			0			
10			0			
11			0			
12			0			
13			0			
14			0			
15			0			
16			0			
17			0			
18			0			
19			0			
20			0			
小 計			502,934			
合 計			502,934			

構成事務事業の 適当性	<p>消防通信施設の整備に向けて、通信指令システム維持管理事業では、指標における計画整備が着実に進行していることと、当該システムの安定稼働に繋がっていること。内部情報システム維持管理事業では、保守業務委託や情報セキュリティ研修により、情報セキュリティ等の無事故達成率が維持されていること。消防救急無線維持管理事業では、機器の更新や保守業務委託をすることにより、指令管制業務が停止するなどの障害などのトラブルがなく円滑な運用ができていることから、構成事務事業の適応性は高いものと評価する。</p>
----------------	---